

「夏物付下訪問着 ゆり」 下絵と手描き友禅染め、生地を引き染めを一人で手掛けた夏の訪問着。薄いヒワ色地に淡いピンクのゆり、グレーの雲取りといかにも女性のデザインらしく、優しくシックな配色の中にも、大輪のゆりが咲き乱れて華やいた雰囲気漂う一領です。

「お宮参り用初着」 真っ赤な地色に愛らしい玩具を大胆に描いた「女兒用熨斗目・玩具尽くし」。

「染帯 葡萄唐草」 薄利久地に藍の濃淡で表現された葡萄唐草文の友禅染め帯。シンプルな色づかいかえってインパクトの強い印象となり、都会的な雰囲気醸し出します。



## 佐藤 稚子

1997年広島芸術専門学校絵画研究科卒業。同年(株)田村装美に入社し、伝統工芸士(友禅染)の田村英司師に師事。結婚と同時に退社し、白生地製造会社の佐藤織物(株)に入社。同社に染匠部門を立ち上げる。2008年「京もの認定工芸士」認定。

〒602-8446  
京都市上京区五辻通大宮西入五辻町56  
佐藤織物(株)  
TEL.075-417-4111  
FAX.075-451-2701  
HP <http://homepage1.nifty.com/satouorimono/>  
Eメール [fujihime@bird.ocn.ne.jp](mailto:fujihime@bird.ocn.ne.jp)

下絵、配色、手描き、引き染めなど友禅染めの主な工程を一人でしています。広島芸術専門学校絵画研究科を卒業後、友禅の匠・田村英司氏に師事して友禅技法を修得。その後結婚し、白生地製造会社に入社。そこで染匠部門を立ち上げ、古典柄を継承しつつ、時代に合ったオリジナル性のあるものの提供を心がけています。反物の地紋のデザインも手掛け、地紋を生かした「織りと染め」の融合で豊かな表現力ある作品を目指しています。

◆京もの認定工芸士とは…  
京都の伝統工芸品(京もの)の製造に従事し、特に優れた技術を有した意欲ある若手職人に京都府知事から授与される称号。

# 現代的な意匠美で 友禅の伝統技術をつなぐ

京もの認定工芸士 第14号

さとう わかこ  
佐藤 稚子

